

平成21年度「専修学校教育重点支援プラン」成果報告書

事業名	理容師美容師エステティシャン高度専門課程教育プログラムの開発		
法人名	学校法人 国際共立学園		
学校名	国際理容美容専門学校		
代表者	理事長 中村 文雄	担当者 連絡先	若松 伸佳 TEL 03-5850-7201
1. 事業の概要			
<p>本事業では、高度な技術はもちろんのこと自らの夢である独立開業を実現し、マーケティングやマネジメント能力により、繁盛店を展開できる理容師・美容師を育成するための教育プログラムを開発した。開発する教育プログラムは、専門学校4年制課程を対象とし、理容・美容科高度専門士3年次、4年次で実施する教育カリキュラムおよび教材とする。</p> <p>開発した教育プログラムを用いて理容・美容・エステティック関連学科で学ぶ本校2年次在校生を対象に実証講座を実施し、範囲、領域、レベルの検証を行い、その内容を精査した。理容・美容科高度専門士として必要不可欠である独立開業のためのマーケティングや経営戦略の能力を育成する体系的な教育プログラムの開発を行い、これからの理容・美容分野の専門学校の高度化を推進する。</p>			
2. 事業の実施に関する項目			
①開発したプログラム・教材・教育手法等の概要			
<p>開発を推進するために開発委員会を開催し、理容・美容専修学校の高度化教育を目的に、独立開業したサロンを維持、運営、繁栄させるためのマーケティングや経営戦略など、高度な経営知識を習得する教育プログラムを開発した。</p> <p>①教育カリキュラム開発 理容・美容科高度専門士として必要不可欠である独立開業のためのマーケティングや経営戦略の能力を育成する体系的な教育カリキュラムを開発した。</p> <p>②教材開発</p> <p style="padding-left: 20px;">②-1 サロン独立開業テキスト 経営の基本的な知識を体系的に学習し、理容・美容業界の独立開業に必要な知識・能力および店舗の運営・経営の継続・発展に必要な知識・能力をマーケティングから経営戦略構築までを講義および実習により実践的に学習する教材開発を目指した。</p> <p style="padding-left: 20px;">②-2 サロン独立開業テキスト 講師用指導書 サロン独立開業テキストを用いた講座実施の際、指導者用にその講師用指導書を併せて開発した。</p> <p style="padding-left: 20px;">②-3 店舗設計ガイド 経営の基礎知識をもとに、実践的なサロン構築をシュミレーションしながら、ハードウェアから店舗経営をとらえることのできる学習教材を開発した。</p>			

<p>②ニーズ調査等（手法・期間・効果）</p>
<p>理容・美容業界の独立開業の教育に関する現状や課題を明らかにし、また、開発する教育プログラムの基本情報として活用するため、理容室・美容室 約450社に対し、書面によるアンケート調査を郵送にて実施した。</p> <p>理容・美容教育実態調査の調査項目の検討から調査実施、分析を行なうための調査委員会により、独立経験のあるサロンオーナーへ独立開業に関連する事項のアンケートを行なった。これにより、業界の現状や課題を抽出し、客観的分析や考察などを精査・検証した。</p> <p>結論を要約すれば、独立開業に際しては財務的な知識やマネジメント能力についての知識・準備が不足気味で、かつ重要であるというものだった。</p>
<p>③実証講座の状況</p>
<p>開発した教育カリキュラムと教材を用いて、理容・美容・エステティック関連学科で学ぶ本校2年次在校生を対象に12月中の5日間、計15時間の実証講座を実施した。参加学生の率直な意見を聞き、参加者から実施日ごとにアンケートを詳細に取るなどし、意見収集を行ない、教育プログラムおよび開発教材の範囲・領域・レベル等についての検証と、その精査と考察に努めた。</p> <p>結果としては、そのレベル、領域、範囲、等に大きな過不足などは見られず、整合性の取れた教育プログラムを開発したことが実証された。</p>
<p>④その他</p>
<p></p>
<p>3. 事業の評価に関する項目</p>
<p>①目的・重点事項の達成状況</p>
<p>事業全体に関し、目的をほぼ達成したと考察する。この事業で開発した教育プログラムが、専門課程の高度化を図る際に、理容・美容専門学校の高度化教育に対して、新たな教育ツールとして有効に機能するものと考えられる。</p> <p>独立開業を目指す若者たちへの体系的な教育プログラムを開発後、その内容等に関し、実証講座を開講し精査・検証を行った。その結果、教材として内容や範囲、そのレベルについては、ほぼ誤差なく、整合性の取れたものとなった。</p>
<p>②事業の成果</p>
<p>本事業の成果として、独立開業をめざす理容師、美容師、エステティシャン、もしくは理容・美容系の専門学校生の高年次生が、体系的に独立開業を学べる教育カリキュラムが開発された。そのカリキュラムを学ぶための教材・冊子として、店舗設計ガイド、サロン独立開業テキスト、サロン独立開業テキスト講師用指導書を併せて開発した。</p> <p>これらの運営管理・マネジメントに関する開発教材は、実際の現場のサロンでの現状を踏まえたリアルなものであり、それを使用した講座でも、現実に使用可能な事業計画書を</p>

作成することができるような内容となっている。これは、リアルな数値等を活用し、その厳しさを伝える教材となった。

③次年度以降における課題・展開

課題としては、体感的な域を超えないのであるが、社会構造や若者の気質の変化によって、若者たちのモチベーションの変化がテーマとして浮かび上がった。社会人として、また、職業人として、本来の「職業」や「働く」という意味合いを深く理解せずに、将来に対しての長期的なビジョンを描かず、表面上の短期的イメージのみでのキャリア選択を行なっているような印象さえ受ける。その結果、将来に「夢」や「希望」を持つこともなく、不安感さえも抱けずにいるようである。

これが、若者の「生きる力」や「生き方」、「人間力」に影響してくるとも予想され、将来ある若者が、長期的な人生設計を描ききれず、明確な目的も持てず、ひいては早期の離職や退職へ繋がっているとも考えられる。また、組織に依存的な若者が増加し、能動的に自らの力で道を切り開いていく力や、それに伴う精神的な意欲・独立に対してのモチベーションの低下なども見受けられる。

今後、自立に関してのモチベーションが低い者に対し、教育の高度化による独立開業についての支援教材が有効に影響しえるものかどうか、つまり、夢や希望を提供しえるものなのかどうかを研究・調査する必要があると考えられる。

また、社会情勢の変化などによる諸条件の不整合などにより、開発教材の精度向上に努め、継続的なブラッシュアップを行なっていくことが必須であると思われる。

今後は、本事業の成果をもとに、理容・美容科高度専門士を目指す4年制課程設置の準備を検討する。また、開発した教材は、その範囲、領域、レベルなどを考慮し、本校理容・美容科2年次の教育教材として活用を予定している。加えて、卒業生および独立開業を目指す理容師・美容師を対象に独立開業研修会の定期的な開催を計画している。また、既に独立開業をしている理容室・美容室の経営者を対象とする研修会も開催を検討する。加えて、研究を継続し、教育プログラムとして完成度を増してよりよい教材と進化させていきたい。

④成果の普及

本事業の協力専門学校はもちろん、全国の理容・美容分野専門学校約480校へ教育カリキュラムおよび教材の普及・活用のため具体的な実績を示して、普及広報活動を行うこととした。また、Web・ホームページ上でも広くその成果を発信し、研修会開催の際の募集告知も行なっていく。

全国専門学校情報教育協会主催 専修学校フォーラム2010内、平成22年2月24日（水）午前9時より、中野サンプラザ（東京都中野区）において、成果報告・発表を行なった。参加者約25名、内容として、事業の概要、事業の推移、教材開発（教育カリキュラム、店舗設計ガイド、サロン独立開業テキスト、サロン独立開業テキスト講師用指導書）、実証講座の検証、理容室・美容室・エステサロンアンケート調査、事業の精査、事業の考察、今後の課題、等について、広く専修学校関係者へその概要骨子を公開・報告した。また、開発教材3冊（店舗設計ガイド、サロン独立開業テキスト、サロン独立開業テキスト講師用指導書、シラバス）及び報告用資料の全てを配布した。